

審議会等の議事の要旨(要点)

(基本情報)

会議名称	第22期第8回 立川市図書館協議会 定例会
開催日時	令和4年4月22日(金曜日) 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	立川市中央図書館 4階 会議室
次第	<p>■ 図書館協議会</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">① 3月議会について② 立川市図書館 サービス計画・事業計画(令和4年度)について③ たちかわ電子図書館の利用実績について④ 中央図書館の学習活動及び読書活動スペースの整備について⑤ その他 <p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none">① 紙書籍と電子書籍のあり方について <p>(3) その他</p>
配布資料	<ol style="list-style-type: none">1. 議事日程2. 令和4年3月議会定例報告について3. 立川市図書館 サービス計画・事業計画(令和4年度)4. たちかわ電子図書館の利用状況5. 中央図書館の学習活動及び読書活動スペースの整備について6. 紙書籍と電子書籍のあり方について
出席者	<p>[委員] 田村委員、伊藤委員、飯田委員、加藤委員、松本委員、坂場委員、榎本委員、西村委員</p> <p>[事務局] 池田(図書館長)、前村(管理係長)、井上(図書館サービス係長)、米山(児童青少年サービス係長)、堀口(調査資料係長)、大淵(管理係)</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	(会議録参照)
担当	中央図書館管理係 電話042-528-6800

◆第22期 第8回立川市図書館協議会会議録◆

日 時	令和4年4月22日（金） 午後2時00分から午後4時00分まで
場 所	立川市中央図書館 4階会議室
出席者	田村委員、伊藤委員、飯田委員、加藤委員、松本委員、坂場委員、榎本委員、西村委員
【事務局】	図書館長、管理係長ほか
【傍聴人】	0人

■図書館協議会

<副会長>

ただ今より第22期第8回図書館協議会を開催いたします。
本日は、定数12名のところ8名のご出席をいただいております。半数以上というところで本日の協議会は成立しております。

それでは最初に会長からご挨拶をお願いいたします。

(会長挨拶)

<副会長>

会長ありがとうございました。それでは、お手元に本日の配布資料が用意されております。まずは配布資料の確認をさせていただきます。館長、よろしく願いいたします。

<館長>

それでは、配布資料の確認をさせていただきます。

まず、議事日程ということで「次第」があります。次に、報告事項に関して、「令和4年3月議会定例報告について」「立川市図書館 サービス計画・事業計画（令和4年度）」「たちかわ電子図書館の利用状況」「中央図書館の学習活動及び読書活動スペースの整備について」「紙書籍と電子書跡のあり方について」となります。協議会の資料は以上です。資料が不足されている方はいらっしゃいませんか。

<副会長>

それでは、議事日程に沿って進めます。今回は報告事項が4点ございます。図書館長から報告をお願いしたいと思います。

(1) 報告事項

① 3月議会について

<図書館長>

2月15日から3月22日まで3月議会が開催されました。

本会議の予算代表質問は18日に4名質問受け付けましたが、図書館関係の質問はありませんでした。

本会議の一般質問は21日から28日に全体で17名、教育関係10名、うち図書館関係1名受け付けました。

公明党の伊藤秀幸委員から栄町の課題ということで質問がありました。「栄町に地区図書館を設置してほしいという要望が強くありますが、平成10年の図書館協議会で示された「栄町に図書館設置」について、現在、どういった見解をお持ちでしょうか」ということです。市の答弁としましては、「現在、市では、今後の人口減少や施設の老朽化、財政状況を見据えた中で、安全で持続可能な公共施設を保有し続けるため、床面積20%削減とともに公共施設の再編に取り組んでいます。そうした中で、新たな図書館の設置については、大変難しいと考えていますが、図書館サービス面でどのような対応が図れるか検討していきたいと考えています。」続きまして、「高松図書館が入っている建物は、健康会館が移転し、建替え時に図書館がそのまま入ることが良いことなのか。改修・複合化が予定されているさかえ会館に図書館を含めることを検討するなど、地区図書館再編を公共施設の再編の俎上に挙げるべきだと考えますが、見解を。」という質問に対し市の答弁です。「高松図書館やさかえ会館については、公共施設再編の第二中学校圏域における検討対象施設として、平成31年度の市民ワークショップにおいて検討を行ったところです。検討の際には、圏域内で行った「公共施設に関するアンケート」等を踏まえ、圏域内の今ある機能をどのように将来に残していくかという視点から、配置も含めご検討をいただいたところであり、その結果を踏まえ、前期施設整備計画において、令和10(2028)年度までの建て替え、改修などの方向性をお示ししました。本計画では「高松図書館・高松学習館は減築して建替え」、「さかえ会館は改修、令和11年以降、第2期再編個別計画で減築・複合化等の検討」としたところであり、公共施設再編の中では一定の検討を行ってきたものと考えています。」ということでした。

この中でどのようなサービス面が考えられるかということです。一つには、栄町地区には図書館含め、公共施設がないということ、さかえ会館以外は空白地域

です。さかえ会館建て替えの際には図書館の予約本受取などの機能を付けることが可能ではないかという主旨です。図書館そのものを建てるということは現実的ではないので、図書館のサービス面の取次などの分野でできる範囲のことは検討していきたいということです。

続きましては、文教委員会3月7日です。

「中央図書館学習・読書活動スペースの整備について」に関する質問ということで、後ほど報告しますが、3階のスペースにIKEA立川に寄贈いただきまして、机とかソファ、CD等ラックの整備をするということで資料を出しました。

自民党の江口元気議員から「IKEAFamily子ども募金を頂けることはすばらしいこと。座席数は何席になるのか。学習スペースの色はどうなるのか。」ということでした。「学習席については10席以上。読書スペースは6～7席程度。20席以上はほしいと考えています。」という答弁を致しました。

色に関しましては「地味過ぎず派手過ぎず、図書館全体がクリーム調なので、それに合わせた感じになるかと思えます。」と答弁いたしました。

久保田議員からは「長時間椅子に座る場合もある。椅子の形状などは要望しているのか。」ということでした。「学習席は長時間耐えられるような形状、素材を要望しています。くつろぎのスペースにはソファやクッション席といった柔らかい素材のもので対応していただくよう要望しています。」

自民党の中山ひと美議員です。「図書館の読書活動スペースは、以前市民との意見交換会で出たものを文教委員会から要望しましたが、その効果もあったのか。」ということでした。文教委員会では学習スペースの確保ということで、もっと学習席を増やせないかとお話をいただきました。答弁としては「IKEA立川との包括連携協定を結び、メニュー提案のなかで反映できないか頭にはありました。」要はIKEA立川から庁内で色んな事業の募集を行っておりまして、図書館が手上げしました。学習席を増やせないかと私の頭の中にありましたので。「提案がとおったことは、行政と議会との連携の中で実現したものと認識しています。」と答弁いたしました。

公明党の福島正美議員から「IKEA立川とのやり取りの中で原案に対する修正案を提示したとのことだが、どのような内容だったのか。」とのことで、「IKEA立川からはAプランBプラン示され、座席数や学習スペース、読書スペース色々検討するなかで20席以上できれば25席程度は確保してほしいと要望しています。」あとは、「視聴席とともにCDの開架部分もあったかと思えます。CDの開架部分に影響の無いようにしてほしいという声を聞いていますが、そのことについてのお考えは。」ということで、視聴覚コーナーですのでレーザーディスクとかビデオが見られるスペースやCDの開架が元々ありました。「CDスペースはなるべく減らさないような形で進めています。学習スペース、読書スペース、CDスペースこの3部門がお互い共存できるような配置を考えています。」ということで答弁いたしました。

予算特別委員会については公明党の山本みちよ議員からたちかわ電子図書館についての質問でした。「9月以降伸びているが学校に利用カードを配った影響か。」「その通りです。」と伝えました。「大人が良く読まれているジャンルはどういったものか。また、学校との連携後は変化があったのか。」について、「一般の人は料理、旅行、健康、実用書等がよく読まれています。学校連携後も大人の方は貸出回数にほぼ変化は見られません。」と答弁いたしました。「一般の利用者へも配慮しているのか。」ということについて、「一般の利用者は一冊をじっくり読む傾向があります。小説等今後も様々なジャンルに配慮した蔵書構成を心掛けていきます。」ということで、一般の利用者のニーズに適したものをと考えております。

補正予算については中央図書館の修繕ということで、老朽化により不具合が生じている中央図書館施設設備等について修繕するため、3,577,000円が計上されました。

議会の報告は以上です。

②立川市図書館 サービス計画・事業計画（令和4年度）について

続きまして、立川市図書館 サービス計画・事業計画（令和4年度）についてです。4年度の計画ということで、第三次図書館基本計画と第4次子ども読書活動推進計画の中間年です。令和4年には中間報告もまとめますので、計画が順調に進んでいるかをチェックしながら進めたいと思っています。中央図書館と地区図書館の連携を密にする体制を構築し市が掲げている「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」の実現を目指していきます。3次の計画は、第四次長期総合計画の中の個別計画であるという位置づけのため、身近な情報拠点として、暮らしに役立ち市民の学びを支える図書館を目指しています。引き続き情報発信、リクエスト、インターネット、レファレンス等の充実を図ります。2年度より導入した立川電子図書館ではコンテンツを増やしていくとともに、令和4年3月に廃止した視聴覚コーナーは整備をし、学習と読書活動が共存できるような空間を提供できるように努めていきます。

重点項目については、計画に沿いまして頭出しの項目は実施するというので細かい点については省略させていただきます。4年度の大きな目玉については一般、子どもについてアンケート調査を行います。第四次図書館基本計画と第5次子ども読書活動推進計画の中で検証し、中間報告をする中で、次のステップに進むべき事業等に展開したいと思っております。

個別の事業に関しまして、大きく発表して意見を皆様からもらうことは4年度にはございません。コロナ禍において、既存の事業を粛々で行うことが基本姿勢でございます。

8ページ以降は中央館、13ページ以降は地区図書館の計画となっております。皆

様方に置かれましては今資料を配布したばかりなので、ご意見を出していただくことはこの場では難しいと思います。この事項は決定事項で変わりはないですが、皆様の要望、例えばこういうことをしてはどうか、5年度にこの点のサービスについて強化してはどうか、などありましたらメールや手紙、電話でも構いませんのでご意見をいただければと思います。

ご自宅にお持ち帰りいただいて何かお気づきの点がありましたらご指摘いただきたいと思います。

③たちかわ電子図書館の利用実績について

資料は4枚ございます。令和3年1月に開始しまして、令和4年3月末までの実績です。9月の中旬に市内の小中学校に電子図書館カードを配布しました。学校から配布された一人一台タブレットで使用、3年生以上は自宅でも読む傾向です。新しい事業は一時的に伸びて鈍化することが多いですが、御覧の通り9月以降一定で変わりありません。ほとんど子供が中心となっています。子供は飽きてしまったり、興味が薄れてしまったりすることがあるかと思いますが電子図書館については有効利用できていることがわかると思います。

2枚目です。令和3年1月6日～9月12日の小中学校にカードを配布する前の実績です。40-50代の利用が多くなっています。どこの自治体でもそのようです。立川市も学校用カードを配る前は標準的な利用実績でした。

3枚目です。9月13日から3月31日までの実績です。小中学生で貸し出し8割、閲覧7割を占めています。前のページのグラフを見ていただくとわかるように、上限が1.6万ですが、このグラフは8万が上限です。30-60代のグラフの形は変わっていません。閲覧数等の数字を割り戻したところ9月以降大人の数はほとんど変化がありませんでした。子供の利用が増えたことによりこのようなグラフの形になりました。

4枚目です。たちかわ電子図書館 貸出数・閲覧数年度別ランキングです。貸出数を見ていただくと一目瞭然ですが令和2年は児童書も読まれています。筋トレや大人のヘアスタイル、カメラ等趣味嗜好の利用が多いです。ログイン不要でも読める立川市関連資料も多いです。この中では児童書はありません。令和3年はほとんどが児童書です。電子図書館は買い取り(無期限)と〇年(有期限)があります。こちらに載っているものはほとんど無期限のもの。例えば「ぶらんこ」は3アクセス可能です。要は1冊で3人が利用できるようになっております。宮沢賢治の本は音声の電子書籍です。閲覧数については電子雑誌の試用期間がありこれは除外しています。令和2年にはない子どもの本が多くあります。上位はY中高生を対象にした本です。やはり学校配布の影響があると思ってお示しました。

④中央図書館の学習活動及び読書活動スペースの整備について

最終プランが出る前は、20-25席ほしいと思っていましたが、最大30席となりました。コロナの関係で距離を考えると26席です。今後のスケジュールです。6/16に机と椅子を搬入し、組み立てます。16日は図書館休館日です。6/20にIKEA従業員等による設置組み立てを行います。6/20も休館日です。7/4にオープニングセレモニーを致します。IKEAの支店長と教育長が参加し、市から感謝状を贈ります。マスコミが来ればマスコミ対応も致します。7/5から供用開始です。

予約するか自由席にするかと考えましたが、自由で行ってみます。しかし、荷物を置きっぱなしにする、飲食をする等が目立ってしまうと、予約にせざるを得ません。使われ方を見たうえで判断したいと思います。来月の文教委員に報告します。この資料は協議会だけの資料のため取り扱いに注意してください。

⑤その他

<副会長>

館長からご説明と報告がありました。まずは3月議会について、ご意見や質問はございますか？

<委員>

3月定例会の中で、さかえ会館の図書館設置について、「さかえ会館は改修令和11年以降…」とありますが、決定ですか？

<館長>

そうですね。書いてある通り、11年度以降ということではいつからかはまだですが、世界情勢や経済的状況を見て行います。計画上、さかえ会館は複合化するという検討に入っている。その中でどういうサービスを付加するか盛り込まれる予定です。

<委員>

わかりました。私の意見ですが、雑誌等を一般の方から寄付していただいたことがあるが置く場がなくダメだった。さかえ会館の現状の中で、設置しても難しい。改修の意味が分からない。改造するのか、すべて壊して作り直すのですか。

<館長>

あくまでも改修、躯体は残し、増築ですね。

<委員>

増築ですか。

<館長>

委員は地元の会議に出席されているのですか？

<委員>

さかえ会館の運営委員をやっていたので。希望はあるんですが、市民の方も諦めがある様子です。栄だけでなく西砂とか歩いていくのが大変。地元には図書館があることは年寄りにとってありがたい。本を読みたい人はたくさんいる。

<館長>

そうですね。図書館としても改修時どういうサービスがつけられるか地元の意見を聞いて対応したい。

<副会長>

ありがとうございます。他ありますか？…では次へ。立川市図書館 サービス計画・事業計画について何か気になること、もう少し話を聞きたい箇所あればお願いします。皆様見ている間に私から質問させていただきます。電子図書館について、4 ページ目に「ダウンロードして使える資料…」とあるが、図書館が作った資料を掲載することはできるんですか？

<館長>

技術的には出来ます。特段、ここで図書館の資料を作ることはないんですが、著作権との兼ね合いがありますが。デジタルで作ったものが掲示できればと思います。

<会長>

P2の重点施策の地区館との連携とはどのようなことですか？

<館長>

連携事業といっても様々ですが、主に月1回の定例会で中央と地区図書館で前月の実績報告、行事では何をするかなど年間計画を踏まえて話します。民間事業者なので、自主性を重んじています。特に極地研究所や国立博物館の方を呼んで恐竜の企画を行うなど直営でもできるが、フットワークを軽く行えるため民間のノウハウを期待しています。日々の活動の中で互いに共有し高めたい。

<会長>

情報やノウハウを共有するのですね。ありがとうございます。

<副会長>

用語がわからないとかそういう質問でもいいのですが。

<委員>

さっきの栄町の話ですが、図書館を作るとなると大変です。取り寄せの窓口だけで司書がいて、本の受取、案内をしてもらうとだいぶ違います。

<館長>

取次があるとないとでは大違い。今では栄町地区の方は高松町や幸町、中央に行くことになる。地元の会館で簡易な方法で図書館を利用できるようになる。司書がいてレファレンス機能がある体制になるかどうかは議論したい。

<委員>

インターネット端末についてですが、調べ学習などスマホで調べることが多いので、Wi-Fiを設置する計画はありますか。

<館長>

Wi-Fiは庁内での審議会ではOKをもらっています。あとは予算の問題。この時代施設が老朽化しておりまして、維持費にお金がかかっている。施設の改修だけに留まらず、こうした新しいWi-Fi、パソコンといった環境を早急に検討実施したいと思っています。

<委員>

Wi-Fi設置した図書館の来館者数が増えたと聞いているのでニーズに合ったサービスをぜひ行ってほしい。

<副会長>

何か質問があればまた後程。では、電子図書館の実績についてですが、配布資料にグラフが出ています。一律小中の児童にカードを配布したようですが使い方の説明はどのように行ったのですか。

<館長>

簡単なログインの使い方は伝えましたが、図書館員が直接行って教えてはないで

す。先生が生徒に指導できるようレジュメは配布して指導していただいています。低学年は自分ではできないので、若葉台小学校では5.6年生が手伝っていると聞きます。保護者が先生の指示に基づいて設定したりしました。小学校2年生以上は自分で行っているようです。

<副会長>

閲覧数では立川シティプロモーションブックが2位ですが。トップページに表示されていたのかなと思ったんですがこの辺はどうですか。

<調査資料係長>

60タイトルログイン不要があり、毎日トップ画面も変わるようにしている。特にこの本だけ表示されているものではないので興味を持っていただいていると思う。

<副会長>

調べもの学習に使いそうですね。

<委員>

貸出数と閲覧数の違いですが、貸出が読むとと思っていましたが、閲覧が読むとなっていてどう違うのですか？

<館長>

借りるボタンを押すと貸出になります。貸出後、読むボタンに変わります。資料を見ていただくと一万冊借りているもので閲覧は2万のものがあります、よって、1冊について2回読むを行っています。例えば、「ぶらんこ」を借りました。返すまでに2回読むボタンを押しているという統計です。

子どもたちが読む時間帯は朝の始業前の8:20から5分くらい読書の時間がある。そこでは電子を読む子も紙を読む子もいます。そこが貸出数の向上に影響がありますね。

私の方で業者に1回借りると他の人が読めないことについてマイナスであり、借りたい本がすぐ読めないと子どもが離れてしまうことを話しました。学校図書館を運営しているポプラ社など、学校図書館だけ、同じ本を複数人が読めるようなサービスを行っています。そういうものであれば朝読、授業で活用できます。立川市でも導入予定に向けて話を進めています。ある程度制限はあるかもしれないがコンテンツを増やすよう進めていきたい。

<副会長>

カードは学校を卒業したら資格はどうなるんですか

<館長>

中学を卒業するまでです。有期限です。

<副会長>

切れちゃうのか。もったいないですね。習慣がついたのに。

<館長>

次のステップとして高校生に向けてどう提示するか進めていきたい。

<会長>

1位のTRC…は雑誌読み放題でしたっけ？タイトルはどのくらいですか？

<館長>

100くらいです。テスト期間で行いました。どうしてもコンテンツが限られて週刊文春、新潮、日経とかないし、人気のある趣味の雑誌、ファッション誌も限られる。もっと増えると財源を投入できるんですが。月額いくらで行っているものなので、公共だと利益がなく業者も厳しいのでは。

<副会長>

こちらの方はまた気づいたら。

取扱注意になっている中央図書館の学習活動及び読書活動スペースの整備について気になることあれば。

<委員>

質問させていただきます。パーテーションはありますか。共有テーブルだと光源はどうなっていますか。

<館長>

テーブル席の2人掛けについて学習読書両用テーブルという1人掛けのものにしようとしています。コロナ終息後2人掛けにする予定です。

個人席については光源があります。

<委員>

そうですか。一つ一つのテーブルに光源があるんですね。わかりました。3Fを時々覗きますが、吹き抜けのところ、机があって勉強していますが、光源が遠いような気がして、皆さん不便をしているかと思って。

<館長>

吹き抜けのところはレイアウトを変えて個人席にする予定で使いやすい形態にしようと思っています。

<委員>

4人席はパーテーションありますか？

<館長>

IKEAの方では感染予防のパーテーションは用意されないと思うので、我々の方で用意するようかと。距離感を見たうえで、IKEAとも相談し進めたいです。

<委員>

ここのスペースで話し合いはしてはいけないんですか？

<館長>

そうですね。グループワークができる部屋を作ろうかと計画がありましたが、そこまで予算が回らなかったのもありましたし、学習席の要望があったためここでは導入していません。

<委員>

コロナ後、パーテーションはどうなりますか？

<館長>

コロナ終息後はいらないと考えております。

<副会長>

それでは、こちらに関しても後ほど気になる点があればお願いします。

(2) 協議事項

① 紙書籍と電子書籍のあり方について

<副会長>

協議事項が1点ありまして、館長から「紙書籍と電子書籍のあり方について」をお願いします。

<館長>

協議事項ということですが、図書館の考え方において違うのでは、こういう考えもあるのではと思われたらご意見をいただきたいです。まず電子書籍については一定の利用者層もありますし、利用もあるので理解していただけたかと思います。紙の本について、紙を好んで読む方もいますし、電子を導入したことでどうなるのかと不安に思う方もいると思われまます。一定の考え方は示す必要があると思いい記しました。

紙は図書館が物理的に保管することによって将来にわたって利用者ニーズにこたえることが出来る、著作権法に基づいて複製をすることが可能、利用者は必要とする範囲を手元に保持することが出来ます。特に調査研究においては紙資料の方が有用な場合が多い。書物も多いですし、著作権で許諾されているものは電子書籍より紙書籍の方が圧倒的に多いです。

電子書籍においては使用許諾契約で有期限のコンテンツもある為保存資料とすることに適していません。無期限の物もありますが多少古かったり、人気の本はなかったりなど、なかなか保存資料という位置づけは難しい。ダウンロードはできません。短期間で気軽に読める図書の需要が多いです。ただし汚破損もありませんので、スマホやパソコンで365日24時間どこでも読める利点はあります。

それぞれの特徴です。紙の利点は細部の読み取りや深い思考をしやすく重厚な書籍の読解に適しています。内容が記憶に残りやすい、指やペンで文字を負うことで深い理解につながります。マイナス面としては紛失や劣化があります。保存の問題もあります。スペースが必要で、本来なら保存が必要なものでも選別して除籍している状況です。多摩地区においてもどこの図書館に所蔵しているか検索することが出来るので1冊本になったときは除籍しないようにしています。障害者、高齢者向けの大活字本や絵本とかはありますが、蔵書冊数は限られます。

電子書籍はいつでもどこでも手軽に気軽に読むことが出来ます。内容についてはさっと読んでしまうので記憶に残りづらい傾向があります。利便性操作性に適しているものの浅読みになってしまう。利点として紛失や劣化はしない。スペースが不要というメリットがあります。読書バリアフリー対応として文字の拡大や読み上げ機能が充実しているため障害者高齢者向けの対応として一定の利便性はあるのかと思います。今言ったのはあくまでも概略なので個人的に電子の方が記憶に残るしじっくり読んでいる方もいるので一概には言えませんが主な特徴として

とらえています。

2番目です。「立川市図書館における紙書籍と電子書籍の方向性」ということです。現時点で紙書籍は使用的価値を含め熟考したり調査資料目的で利用ニーズが高いことからこれからも収集保存は必要と考えております。一方で電子化される書籍が限られるものの利便性や衛生面で利用価値がある電子書籍はコロナ後も需要が見込まれます。特に令和3年9月から開始した小中学生の利用カード配布による読書活動推進事業はそれまで低迷していた利用層を掘り起こす結果となりました。レシピ本健康ダイエット本、旅行本なども堅調に推移しています。さらに民間企業からの費用負担によって特徴あるコンテンツや充実したサイトも機能しております。現在、こぶしロータリーさん、壽屋さん、立飛ホールディングさんからもいただいておりますので3事業主からです。

紙と電子それぞれの利点があるためどちらかに偏ることはありません。

紙の利用実績についてです。立川市は常に5位以内と上位です。安城市は駅前の複合施設に立っておりイートインスペースがあり斬新的な取り組みでトップです。2020年は残念ながら立川は三鷹と日野に抜かれたようです。コロナ禍でこの2館は休館しなかったのも大きい要因です。電子の方は立川市は図書館流通センターTRCの電子図書館を利用しています。207の自治体でTRCを利用。熊本札幌など人口の多い大都市が上位です。そこに匹敵するような順位にいます。1.2.8.10位は学校連携し利用が増えているようです。おそらく次は立川は5位以内に入りそうです。一か月に1万冊貸し出されています。単純に年間で12万となるので1位の熊本11.6万なのでトップになりそうですがまだならないかと。

立川市図書館においての今後の基礎資料の考え方についてです。電子書籍が全国的に普及しないかという予算の問題があります。書籍の価格は電子書籍の価格の方が2-3倍、モノによっては5倍となります。紙で1,000冊購入できるところが電子だと300しか購入できません。しかも新刊本は発刊されません。人気作家は公共の無料のものは出ないです。同時アクセスも1人に制限されています。

図書費ですが、生命財産について自治体は資金を投入するので図書費は削られやすいです。増額はなかなか見込めません。紙でも減らされているのに電子に投入する余力がない状況です。立川市図書館は民間事業者からの費用負担の継続及び充実に今後も務めていきます。実際壽屋さんから年間150万、立飛さんからも150万、こぶしロータリーも初期に100万いただいています。コロナで使わなかった予算を寄贈していただいた。すべて2年52回のコンテンツです。先方と話して、こぶしロータリーの名前は残したいということで、青空文庫のコンテンツ夏目漱石や志賀直哉などぜひ読んでもらいたい文学作品500点パッケージを購入する話は進んでいます。他にも伊能忠敬のデジタル地図などのコンテンツもあるので次の会

長と相談中です。

立川市としては公の部分と民間とコラボしながら行っています。今後も継続充実していき、図書館が計上した予算と合わせて限られた予算内で紙と双方のメリットを生かした事業展開を行い、紙と電子利用実績を考慮しながら予算の適正化を図るようにします。紙と電子のあり方としては立川市は共存共栄の立場を取りどころも必要であり、予算については利用実績を見ながら配分比率を考えていきます。説明は以上です。

<副会長>

説明ありがとうございました。こちらは方向性についての質問でいい？

<館長>

立川市の方針報告ですのでご理解いただければという感じです。

<副会長>

何かご質問ありますか？

今年度は予算いくら？

<館長>

図書館の予算は電子340万円。民間の立飛さんとかから300万円は確定しています。ただ民間事業の業績にもよります。こぶしロータリーから40-50万もらえるかなど。公共と民間でとんとんかな。読み放題パックは国の補正出れば公費で買おうと検討している状況です。

<委員>

漠然とした質問ですが、次にどんな本を入れようかという判断は利用実績からですか？

<館長>

電子の選書は紙の選書に準じます。まんがは紙は買わないけどアニメーションは電子ならではの良さもあるので買うこともあります。事業者から新刊リストが来ます。人気の本は少ないですが紙と同じに出る電子もあるので、そのリストから選びます。

<委員>

あまり読まれない本も欲しいなと思います。立川の歴史とかの本歴民に1冊3,000

円で売っている本もあるのでそういうの见たい。立川市についての本があり、次の日借りようと思っただけでなかった。そういう珍しく価値のある本を読めるようにしてほしい。

<館長>

なかなか著作権を得るのが難しい。本を出版した時に電子でもいいか、許諾を取りますが、昔の本はないものがほとんどです。亡くなると許諾が難しい。地域資料担当から説明を。

<調査資料係長>

誰にでも見ていただきたいがタイトルを増やすことに苦慮しています。権利を許す範囲で電子化を進めていきたい。

<副会長>

ありがとうございました。そろそろお時間です。また疑問があれば館長に連絡をお願いします。

図書館協議会第22期は本日で最後となります。皆様からお一言いただければと思います。

(各委員より挨拶)

(17:10終了)